

(参考) 平成22年度ごみゼロ推進功労者表彰者一覧

【団体】

名 称	代表者	所在地	推薦者
(カブシキガイシャ 滝ノユホテル) 株式会社 滝の湯ホテル	代表取締役 山口 元	天童市 鎌田本町	山形県旅館生活衛生同業組合理事長
功 績			
<p>平成元年より社内の環境に対する問題意識を醸成し、旅館営業における環境影響の調査、環境負荷軽減のための検討を行い、現在5つの事業に取り組んでいる。</p> <p>①食品リサイクル事業：社内の食品残渣について、業務用コンポスト機で生ごみ処理し、自家農場内で堆肥作りを行い、作物を栽培。収穫した野菜はお客様に提供している。</p> <p>②割り箸リサイクル事業：使用済みの竹箸を自家炭窯にて炭化し、その過程でできる木酢液を自家農場に散布し、防虫・無農薬化・土壌殺菌を行っている。また、炭自体も堆肥として利用されている。</p> <p>③紙のリサイクル事業：紙質により5種類に分類後、回収業者に販売。</p> <p>④廃食用油エステル化事業：調理場から出る廃食用油を精製機でエステル化し、BDFを精製。ボイラーやディーゼル車の燃料として月約1,000ℓを精製している。</p> <p>⑤水質保全事業：平成11年より化学合成洗剤を石鹼洗剤に切り替えた。食器洗浄や館内清掃は廃食用油を原料とした粉末洗剤や環境に優しい製品作りに取り組んでいるメーカーの石鹼洗剤を採用し、大浴場などのシャンプー等も人体や環境に影響を及ぼすものが入っていない石鹼素材のものを設置している。</p> <p>平成19年度のリサイクル率：70.62%（リサイクル量 107,640kg／廃棄物総量 152,420kg）</p>			
受 賞 歴			
<ul style="list-style-type: none"> 平成21年6月 「第12回人に優しい地域の宿づくり賞」にて 全国旅館生活衛生同業組合シルバースター一部長会長賞受賞 			

【団体】

名 称	代表者	所在地	推薦者
(カブシキガイシャマカタンジドウシャハバインリサイクルセンター) 株式会社山形県自動車販売店リサイクルセンター	代表取締役社長 遠藤 栄次郎	山形市 漆山	NPO法人環境ネットやまがた代表
功 績			
<ul style="list-style-type: none"> 使用済自動車の解体工程で廃棄されていた部品を、資源として再利用するための研究開発に積極的に取り組んでいる。 製品化の例として、エアバックやシートベルトを使用して製作したバックや車載用の緊急担架などを製作した。 資源の再利用として、プラスチックやウインドガラスを、車の部品や緑化駐車場に利用するなどの取組みがある。 自動車をとおした環境保護啓発のため、自動車リサイクル事業のアンテナショップの展開や、工場見学などの受入れを積極的に行っている。 			
受 賞 歴			
<ul style="list-style-type: none"> 平成20年10月 3R推進協議会会長賞受賞 			

(参考) 平成22年度ごみゼロ推進功労者表彰者一覧

【団体】

名 称	代表者	所在地	推薦者
(ミナトヤシヨウジ カブ シカ イシャ) 港屋商事 株式会社	代表取締役 宇佐美 信吉	河北町 谷地	NPO法人環境ネットやまがた代表
功 績			
<ul style="list-style-type: none"> 古紙回収を通じての環境保護活動として、ガソリンスタンドに顧客が古新聞・古雑誌などの古紙をまとめて持ち込むとガソリンを値引きする取組みを平成20年から実施。 古紙はリサイクルのルートに乗せ、専門業者の買取で得た益金を活用し、平成21年には西村山・最上地区の全小学校へ環境に関する絵本を寄贈した。さらに、平成22年には河北町に電動スクーターを2台寄贈した。 			
受 賞 歴			

【団体】

名 称	代表者	所在地	推薦者
(ヤマガ タシヨウヒシヤレンゴウ カイ) 山形市消費者連合会	会長 五十嵐優子	山形市 城南町	山形市長
功 績			
<ul style="list-style-type: none"> レジ袋削減の取組みから始まった、市民・事業者・行政の連携を大切にしながら、スーパー等において容器類の実態調査を実施すると共に、食品トレーリサイクルキャンペーンや雑がみリサイクルキャンペーンを実施し、容器包装廃棄物の減量・資源化に貢献した。 平成14年に設立した「山形市マイバッグ推進会議」の中心的存在として多年にわたり活動を展開、平成20年の「布類・紙類の資源化の取組み」及び「レジ袋削減の取組み」の協定に参加し、ごみ減量と資源の再利用に大きく貢献した。 			
受 賞 歴			

(参考) 平成22年度ごみゼロ推進功労者表彰者一覧

【団体】

名 称	代表者	所在地	推薦者
(シラタコミゼロプロジェクト)	実行委員長	白鷹町	白鷹町長
白鷹ごみゼロの日実行委員会	加藤仁美	荒砥	
功 績			
<ul style="list-style-type: none"> 平成16年度に、「ごみゼロの日」の啓発イベントを計画実行するために発足し、ごみの分別、マイバック運動、ごみ減量化などを普及する内容のチラシの配布とともに、街頭や店頭での呼びかけ活動を継続して行っている。 ごみ減量化を目的としてコンポスターを普及させるために、町民を対象としたEMぼかしづくり講習会を行い、後日参加者のフォローアップのための座談会も開催するなどきめ細やかな活動を行っている。 地域のイベントに併せてフリーマーケットを開催し、リユースの輪をひろげる活動に取り組んでいる。 			
受 賞 歴			

【団体】

名 称	代表者	所在地	推薦者
(オカサマラジソウカイ)	会長	大蔵村	大蔵村長
大蔵村婦人会消費生活団体部会	田部井愛子	清水	
功 績			
<ul style="list-style-type: none"> 10年以上前から、マイバック持参推進運動（脱レジ袋）に取り組み、使用しなくなった傘・レインコート・着物などから、手作りでマイバックを製作している。 製作したマイバックを商店、役場、公民館、診療所などで無料配布し、少しでもレジ袋や薬を入れる袋を削減しようと献身的に活動を続けており、これまでに製作したマイバックは2千枚にのぼる。 発足当初から、古新聞・古雑誌・アルミ缶などの資源回収を行い、ごみの削減、資源のリサイクル活動に努めている。 			
受 賞 歴			